



うねびみなみ

檀原市立畝傍南小学校 ☎ (27)1507 unebiminami@kashiharacity.ed.jp

あかあかと 日はつれなくも 秋の風 松尾 芭蕉



二学期が始まり二週間が過ぎました。台風10号が去り、秋がやって来るかと思いきや、9月と思えないほどのうだるような暑さが続いています。「残暑疲れ」といった言葉も聞くほど、体力だけでなく気力にも影響を及ぼす気象状況に対応を迫られています。

一方では、二学期には「遠足」「修学旅行」「運動会」「檀原・高市子ども音楽会」等たくさんの学習内容とその成果を発揮する機会や行事が盛りだくさんです。子どもたち自身が設定した「自分に合った目標」に向けて、楽しんで学ぶチャンスにしてほしいと思います。

🔗 備蓄給食をいただきました 🔗

1923年9月1日に10万人以上の死者や行方不明者が出た関東大震災が発生したことから、毎年9月は「防災月間」として自然災害に対する意識を高め、必要な備えをすることを目的としています。台風被害、集中豪雨による河川の氾濫、土砂崩れ、道路の崩壊、また、能登半島地震の被害の大きさは半年以上たった今も復興とは言い難い状況にあります。



檀原市の各給食施設では、緊急事態の際に、欠食がないようにと食品を備蓄しています。9月4日(水)の給食初日には、ボイルされた温かい備蓄ハンバーグを一人一人自分のお皿に出して食べました。「袋を破る」「皿に出す」という行動もいざとなれば自分でできるようにやってみることが重要でした。なかには、デミグラスソースが飛んで標準服が汚れた児童もいました。しかし、そのハンバーグの味が大変美味しくて、ソースを舐めている微笑ましい姿もありました。

「体験してみる」ことの積み重ねが「見たことがある」→「知っている」→「やったことがある」→「自分でできる」といった自信につながり、「できる自分」という自尊心の高まりが「人にも教えてあげたい」「人を助けてあげたい」といった奉仕の精神に繋がっていきます。これは、学校で失敗を繰り返しながらつけていく力のひとつに違いないと考えています。そのためには、保護者の愛情が土台となり、教師の支えと集団の友だちの関わり方が大きく影響します。学習を積み重ねながら、成長していく子どもたちを共に見守っていただきますよう、二学期もご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。まだまだ暑い毎日、ご自愛ください。